

富医ニュース

No.586 令和2年8月1日

一般社団法人 富田林医師会
会長 宮田 重樹
〒584-0082 富田林市向陽台1丁目3-38
TEL.(0721)29-1210 FAX.(0721)28-0858
E-mail: mail@tondabayashiishikai.jp

遠隔での学術講演会等に向けて Zoom勉強会の開催について

新型コロナウイルス感染防止の関係で対面での学術講演会や各委員会などが中止される状況の中、今後の遠隔でのWeb講習会等の開催に向けて、「Zoom」の勉強会を開催します。(Zoomは、企業のビジネスシーンでのテレビ会議やWeb会議からオンライン飲み会まで、幅広く使われているツールです。)

富田林医師会でIT関係でお世話になっている方に講師をお願いして、会員の先生方向けにZoom勉強会を行います。8月27日と9月3日の二日間設定しますが、同じ内容ですのでご都合の良い日でご参加下されば幸いです。皆様奮ってご参加下さい。尚、初心者向けの内容ですので日常使い慣れていらっしゃる方は不参加で構いません。

日時 2020年8月27日(木) 14時～

2020年9月3日(木) 14時～

場所 いずれも富田林医師会 大会議室

持ち物 各自の携帯・PC

令和2年度 日医認定健康スポーツ医 ロコモ研修会(実技)

要介護の前段階に相当するロコモフレイルの時期に効果的な運動(ロコトレ)をすると体力年齢を若返らせることができます。ロコモフレイル患者さんにロコトレを教えると、いつまでも元気に歩き続けられるようになります。

日時: A日程 8月26日(水) 午後2時～4時

B日程 8月27日(木) 午後2時～4時

どちらか、ご都合の良い日程で申し込んでください

場所: 大阪府医師会館4階大会議室

受講対象: 大阪府医師会所属の日医認定健康スポーツ医など医師会会員

定員: 両日程とも50名

受講料: 無料

内容: ロコモティブシンドロームについての講義と実習

A日程講師: 宮田医院 宮田重樹

B日程講師: オサダ整形外科 和田孝彦

取得単位数: 2単位

申込方法: 府地域医療2課あてにFAXにて申込

FAX: 06-6765-3737

(文責 宮田重樹)

調整日

7月分 8月6日(木)
PM3:00まで

特定健診の提出も調整日の8月6日にお願いします。

8月分 9月8日(火)
PM3:00まで

8月の予定

1日(土)・新型コロナウイルス
感染症対策研修会
(すばるホール)

3日(月)・会長副会長連絡会議

6日(木)・調整日

7日(金)・理事会

11日(火)
}・事務局お盆休み
14日(金)

17日(月)・訪問看護ステーション
運営委員会

20日(木)・学術講演会
(大会議室)

21日(金)・広報調査委員会

25日(火)・広報調査委員会
(校正)

27日(木)・Zoomの勉強会
(大会議室)

令和2年7月定例理事会

日 時 令和2年7月10日(金)
13:30より

場 所 医師会 会議室 ZOOM会議

会長挨拶

報告事項

- 1) 令和2年度医師会あすか会について 中止
- 2) 在宅医療普及促進事業補助金について、今年もエンディングノートを作成し配布。
- 3) 社会保険指導講習会について。
- 4) 学術等の再開に関して(Web講習会実施における生涯教育制度)
- 5) 医師会館・休日診療所のコロナ対策に関して、担当理事の南先生より報告。
- 6) 大阪府医師会労災部会委員の推薦について、引き続き 山本善哉先生で願います。
- 7) 「富田林市小学校給食アレルギー対応食検討委員会」及び「富田林市小学校給食衛生管理委員会」委員の推薦について →両委員とも福田先生
- 8) 健康危機管理関係会議 8/6(木)
府民センター→赤松先生
- 9) 第1回郡市区等医師会救急医療担当理事連絡協議会 7/27(月) 府医→赤松先生
- 10) 令和2年度大阪府医師会産業医部会委員会 8/5(水) 府医→藤岡 洋先生
- 11) 河南町予防接種健康被害調査委員会委員 宮田先生、藤岡雅司先生、仲谷先生
- 12) 富田林市障がい者地域自立支援協議会委員 宮田先生
- 13) 河南町国民保護協議会委員及び防災会議委員 宮田先生
- 14) 太子町国民保護協議会委員及び防災会議委員 宮田先生

- 15) 府医 地域医療計画推進委員会 宮田先生
- 16) 府医 保険指導委員会 赤松先生

協議事項

- 1) 入退会の件
- 2) 富田林保健所管内難病医療療養ネットワーク会議委員の推薦について、前任は前田先生と坂口先生、今回は1名の推薦で願いますとのこと
→前田先生で願いました。
- 3) 医療問題研究委員会(令和2~3年度)委員の推薦について、再任を避けて下さいとのこと。
現 山本善哉先生→検討中
- 4) 休日診療所改装について、休日診療委員会で検討していただくことで承認しました。
- 5) 医師会70周年記念式典に関して、縮小して開催で承認しました。
- 6) 医師会事務室受付カウンターについて、再度検討することで承認しました。
- 7) 防護服、フェイスシールド、手袋等の分配と在庫について
- 8) 今後の学術講演会について
- 9) 医師会在庫しているマスクについて

富田林医師会学術講演会

日 時：2020年8月20日(木) 14:00~15:00

場 所：富田林医師会 大会議室

【特別講演】

座長 済生会富田林病院 外科部長

辻江 正樹 先生

『肝胆膵領域の外科系疾患へのアプローチ』

演者 済生会富田林病院 外科副医長

森 総一郎 先生

肝胆膵領域の外科系疾患には手術難易度の高く治療予後も厳しい悪性疾患から良性の胆石症まで多岐にわたります。

なかでも胆石症は人口の5%が保有するポピュラーな疾患です。無症状のものから痙攣発作、急性胆嚢

炎で腹部救急対象となるものまでさまざまな病態を呈し、開業医の先生方から腹痛・発熱などでご精査いただきご紹介いただくことも多い疾患となります。

病態や患者さんの状態によって治療方針が変化してきますが、当院では消化器内科・消化器外科が連携することで患者さんそれぞれに応じた、QOLを重視したチーム医療が迅速にて提供できるよう心がけています。

本講演では、胆石胆嚢炎の良性疾患を中心に肝胆膵領域疾患の症例提示をしながら、当院で行っている肝胆膵領域の取り組みについてお話しさせていただきます。

※本会は生涯教育制度「1単位」・取得カリキュラムコード「27・黄疸」、「53・腹痛」を申請中です。

「令和2年度 健康市民フォーラム」の開催中止について

今年11月に開催を予定しておりました「令和2年度健康市民フォーラム」ですが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から開催を中止させていただくこととなりました。

問い合わせ 富田林市

健康推進部 高齢介護課

TEL. 0721-25-1000

FAX. 0721-20-2113

担当：友井・山本

*鉄道トリビア ～京阪電車物語その5～

阪急や国鉄(JR)に速さで勝てない京阪が打ち出した施策。今回は車両の乗り心地を追求したお話をしました。他にも京阪は色々なアイデアでライバルに対抗してきました。

その代表的なものの一つが天満橋から寝屋川の萱島駅に至る、11km近くにも及



ぶ複々線区間です。これはつい最近まで民鉄としては日本一の長さを誇り、かつそれが昭和8年に完成していたという点で特筆されるものです。軌道(路面電車)規格で、かつ集落をつなぐように作られた京阪本線の中でも蒲生から守口の間は道路との併用軌道であるうえに、特にカーブが多く、「野江の七曲り」と呼ばれる区間もありました。また軌道であるがゆえ駅数も多く、急行運転をしようにも各停がつかえてしまう(阪神電車と同じですね)。そこで京阪はこの区間を思い切って直線化し、かつ各停の走る線路と急行の走る線路をわける策に出たのです。踏切もできるだけなくすべく、可能な限り高架線あるいは築堤の上に線路を敷いたのです。阪神電車と違い、当時この辺りはまだほとんどが田畑であったためにこうした施策が取れたものと思われます。これにより所要時間は大幅に短縮されました。市街地化してからではこうはいかなかったと思われ、京阪の進取性を語る出来事といえるでしょう。

もう一つ、京阪の車両で忘れてはならないのが5000系電車です。高度成長期、どこの鉄道でも増え続ける通勤客を捌くため



に電車の長編成化が図られましたが、京阪は当時大坂市内と京都市内で路面電車との往來があったため、編成を7両以上にするのができませんでした。設備の改良工事は行われていたものの工期は10年ほどかかるといわれ、そうこうしているうちに駅での乗客の乗り降りに時間がかかりすぎてダイヤが乱れることが状態化してきました。限られた編成で、いかに乗降客を効率よく捌き、ダイヤの乱れを改善するか。そこで京阪が編み出したのが1両あたり5つの扉を備えた通勤車両、5000系です。この形式は1両の片側に5扉を備え、

かつ編成全部が5扉車である、日本初、かつ唯一の形式です。京阪の標準車は1両あたり3扉となっているのですが、5000系では従来の扉の間に2つの扉を増設した構造となっています。ユニークなのは増設した2



つの扉に日本で唯一の座席昇降機構を備えていることで、2扉を閉鎖して3扉車としても使用できる構造となっています。扉を増やせば座席数が減りますからサービス低下につながります。

そこでラッシュ時以外の時には増設した2扉を閉鎖して座席を下ろすことにより、座席数を確保するようにしたのです。この機構について、京阪は特許を取得しています（現在は期限切れ）。装置を載せることで生じる車両の重量増に対応するため、当時としては珍しいアルミ車体が導入されたことも特徴です。そのせいで5000系は他の形式と違い、少々角ばったデザインとなっています。5000系の投入は、駅での乗降時間短縮に絶大な効果を発揮しました。1970年生まれですが、現在でも通勤輸送に活躍しています。しかし京阪にも近年の流れであるホームドアの設置が決まったことで、扉の数がホームドアに対応できなくなる本形式は、残念ながら廃車されていく運命にあります。ちなみに京阪はこの形式に「三つ五郎」という愛称をつけていたのですが、マニアの間ですらあまり流行らなかったようです。言い得て妙な愛称とは思いますが…

次回は現在も進化を続ける京阪のお話をして、物語を締めくくろうと思います。(zenkun)

〔画像はウィキペディアより引用〕



7月行事・会合

6日(月)・会長副会長連絡会議

8日(水)・救急災害医療委員会

・調整日

10日(金)・理事会

14日(火)・学校医部会

20日(月)・訪問看護ステーション 運営委員会

21日(火)・広報調査委員会

28日(火)・感染症対策委員会

・休日診療委員会

・広報調査委員会(校正)



○会員数(8月1日現在) 186名

A会員 96名 B会員 90名 C会員 1名

○入会 なし

○退会 7月31日

山本 正宏 B(山本耳鼻咽喉科)

田中花往里 A2B(PL病院)

○異動 なし

広報調査委員会

| | | | |
|-----|-------|-------|-------|
| 委員長 | 齊藤 謙介 | 副委員長 | 森井 秀樹 |
| 委員 | 青山 賢治 | 天城 完二 | 植村 匡志 |
| | 江村 俊也 | 奥野 敦史 | 尾多賀雅哉 |
| | 遠山 佳樹 | 中村 元 | 藤岡 洋 |
| | 山本 善哉 | | |